



株式会社 ジェイ・エム・エス  
<http://www.jms.cc/>  
証券コード 7702

## 平成 24 年 3 月期 決算資料

(平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日)

# 連結決算の概要

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 業績ハイライト



平成24年3月期 —増収減益—

売上高 468.3億円 (2.7%増)

(%表示は、対前期増減率)

売上高	【国内】 -医療の安全と効率化に貢献する輸液輸血群の販売が好調 -新機能を搭載した血液透析装置をはじめとする透析群の販売が順調に推移
	【海外】 -北米・EU圏でシェアの高いAVF針（血液透析用針）の販売が引き続き伸長 -為替の影響によって売上高の伸びは鈍化

営業利益 10.5億円 (38.4%減)、経常利益 13.8億円 (24.6%減)、当期純利益 9.4億円 (27.0%減)

利益	-為替による売上高への影響の他、原材料費や労務費の増加 -人事制度改定に伴う一時的な費用負担 -持分法による投資利益を計上したものの、税金費用の負担増加
----	--

## 配当金

年間配当金は1株当たり8円（うち中間配当4円）を予定

# 連結経営成績



## 増収減益

百万円

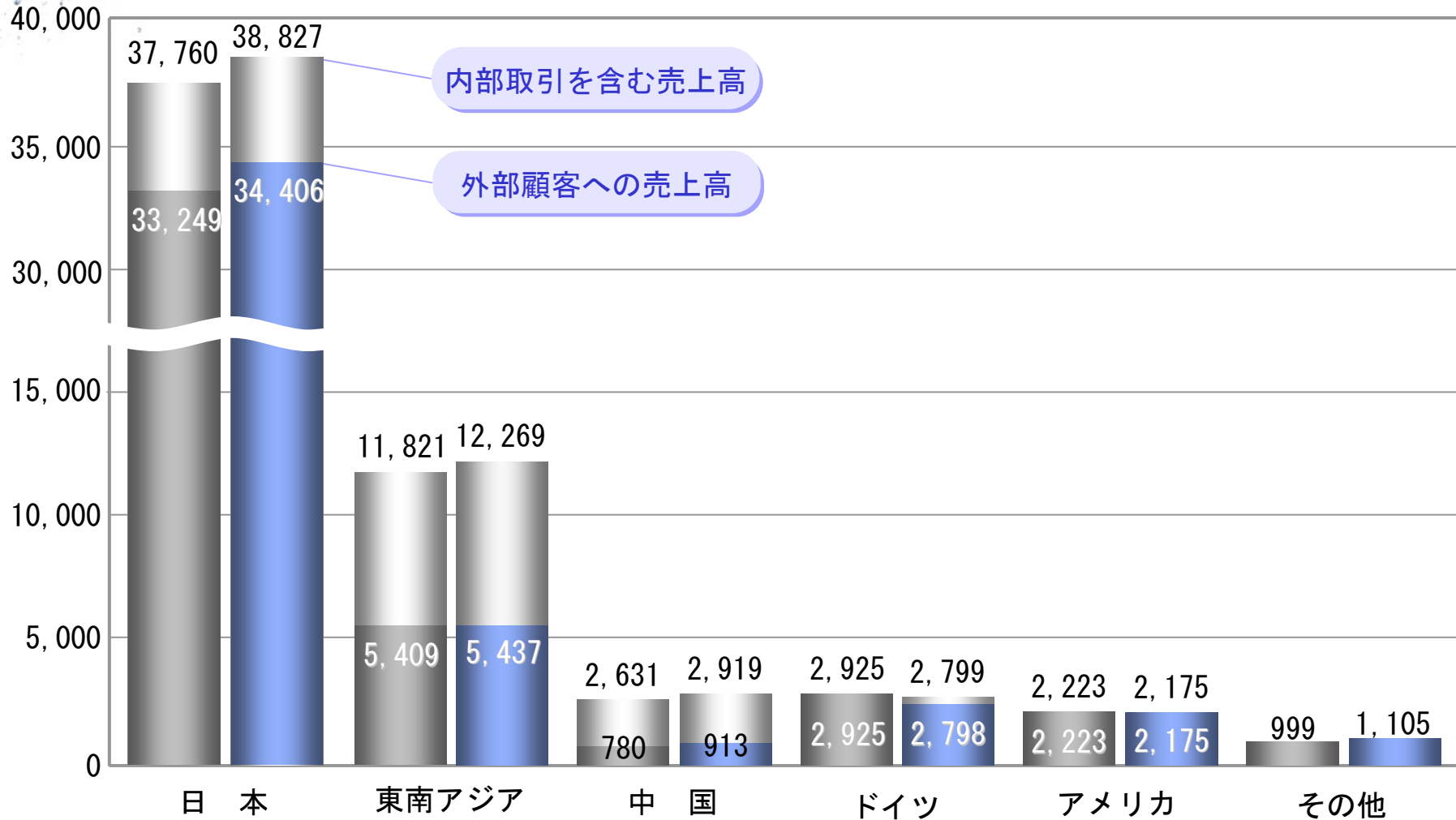
	23年3月期	24年3月期		対前期 増減率	対予想 増減率
	実績	前回発表予想	実績		
売上高	45,587	46,500	46,836	2.7%	0.7%
営業利益	1,707	1,000	1,052	△38.4%	5.2%
経常利益	1,833	1,100	1,382	△24.6%	25.6%
当期純利益	1,291	500	942	△27.0%	88.5%
一株当たり 当期純利益	29.91円	11.59円	21.84円	---	---

# セグメント業績・売上高

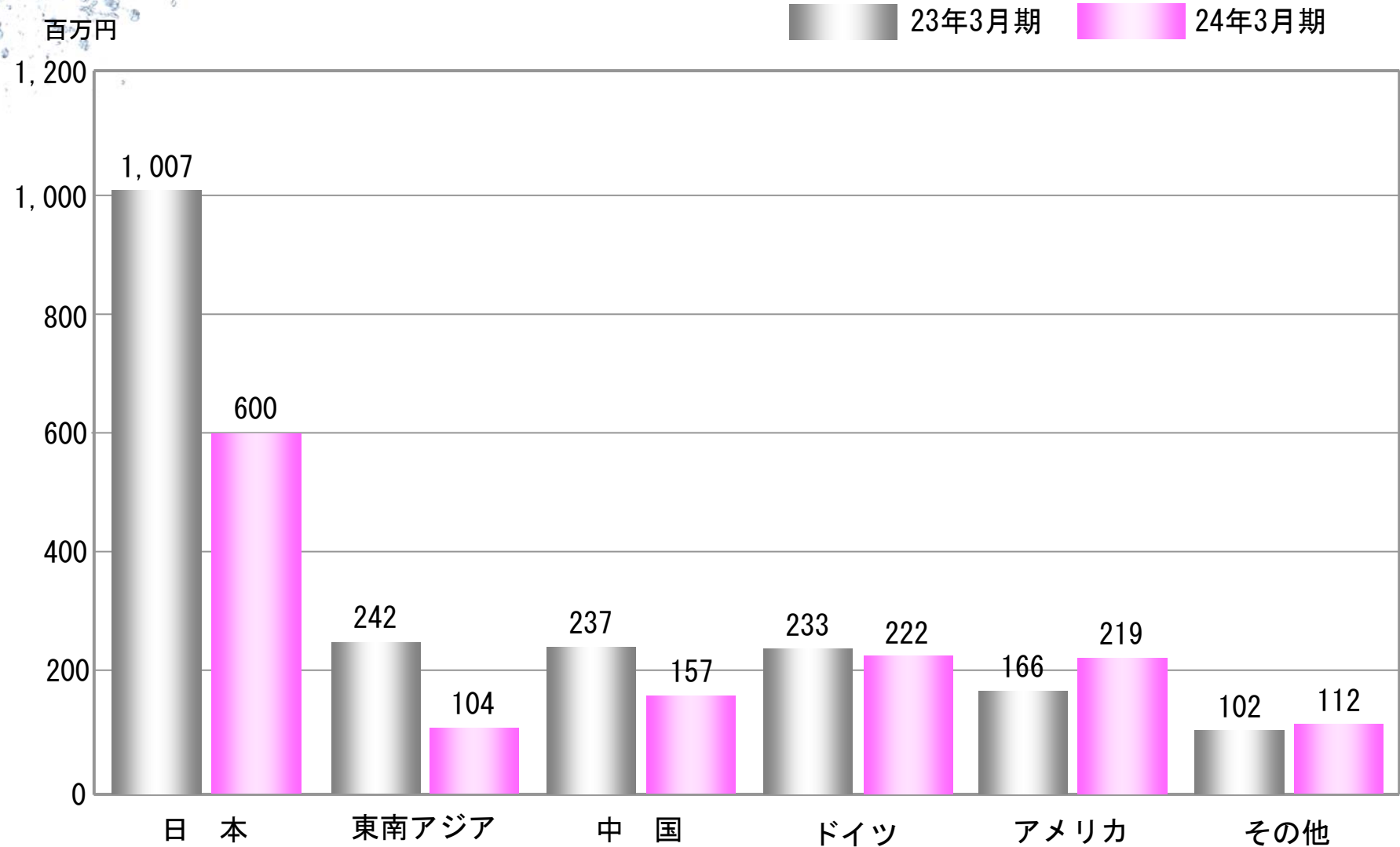


百万円

■ 23年3月期 ■ 24年3月期



# セグメント業績・利益



# セグメント業績



(対前期増減率)



日本

売上高	38,827 百万円	(2.8%)
セグメント利益	600 百万円	(△40.4%)

新機能を搭載した血液透析装置の販売が好調に推移したことに加え、「プラネクタ」付輸液セットや延長チューブの販売が漸増。



東南アジア

売上高	12,269 百万円	(3.8%)
セグメント利益	104 百万円	(△57.2%)

日本向け人工腎臓用血液回路の販売及び北米向けA/V F針の販売が好調に推移。



中国

売上高	2,919 百万円	(10.9%)
セグメント利益	157 百万円	(△33.6%)

日本向け輸液セットの販売及び中国国内における人工腎臓（ダイアライザー）や人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移。



透析用コンソール  
「GC-110N」

血液透析を安全かつ効率的に行うための装置です。人工腎臓用血液回路内などの洗浄や血液の脱血/返血など、透析時の複雑な機械操作の大部分を自動化することで、医療の効率化と誤操作防止に貢献します。



ニードルレスアクセス  
ポート「プラネクタ」付  
輸液セット

輸液セットは人間の体液に必要な水分や電解質を投与するために使用する医療機器です。「プラネクタ」は輸液セット等に対し金属針を使用せず接続が可能なニードルレスアクセスポートで、患者さんにとっては薬液や血液の汚染要因を減少させ、医療従事者の方々にとっては針刺し事故を防止するため、双方への感染リスクを大幅に低減します。

# セグメント業績



(対前期増減率)



ドイツ

売上高	2,798 百万円	(△4.3%)
セグメント利益	222 百万円	(△4.5%)

ドイツ国内におけるA V F 針の販売が引き続き伸長したものの、東欧向け血液バッグの販売が減少したことに加え、円貨換算により売上高は縮小。



アメリカ

売上高	2,175 百万円	(△2.2%)
セグメント利益	219 百万円	(32.3%)

大口顧客の営業拡大に伴い北米向けA V F 針の販売が引き続き好調に推移したものの、円貨換算により売上高は縮小。



その他

売上高	1,105 百万円	(10.5%)
セグメント利益	112 百万円	(9.9%)



人工腎臓  
(ダイアライザー)

人工透析の際に用いられる、中空糸という人工の膜を使用して血液から余分な水分や老廃物を取り除くための医療機器です。

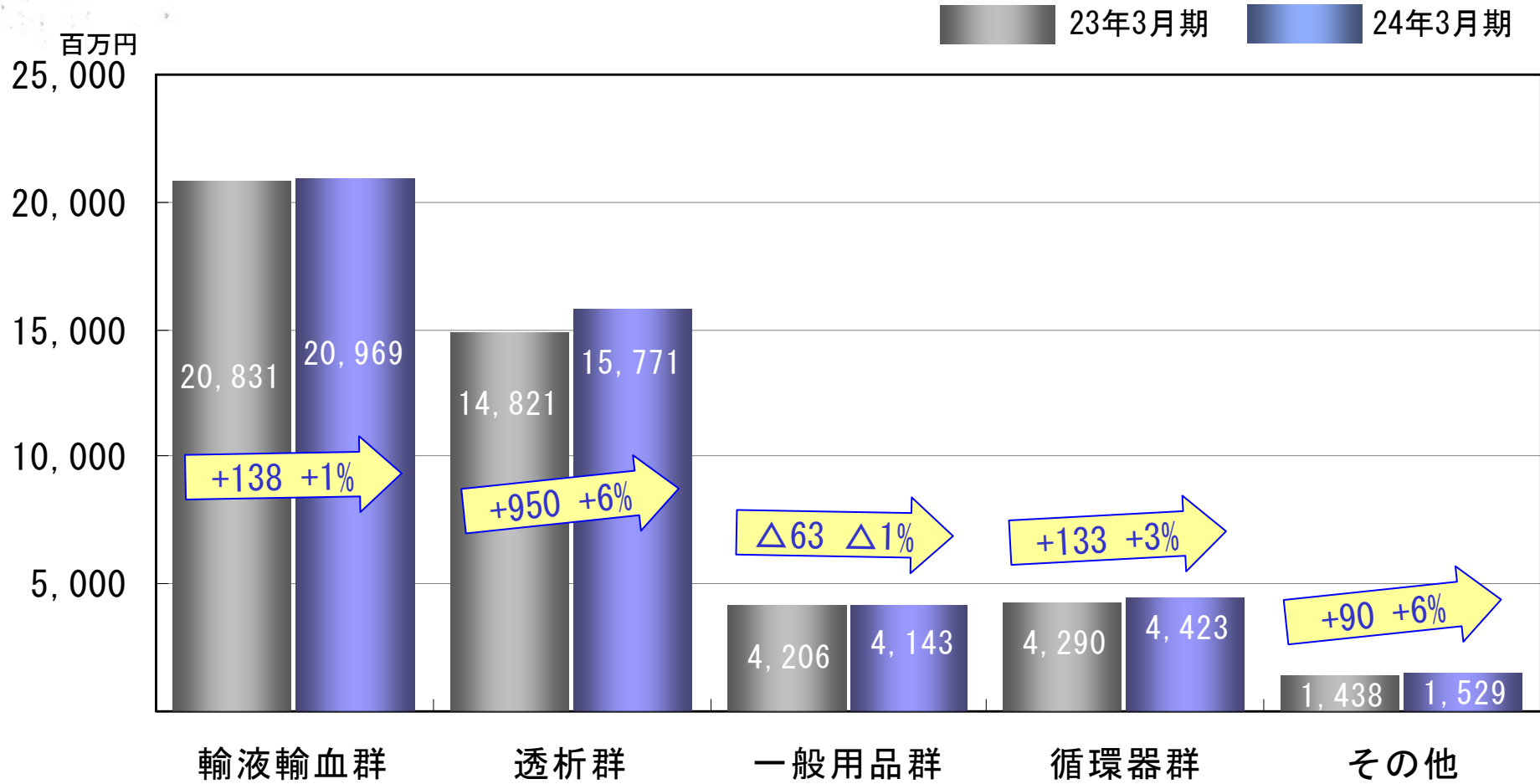
誤穿刺防止機構付きA V F 針  
「SysLoc シスロック」



①針先収納前      ②収納中      ③収納後ロック

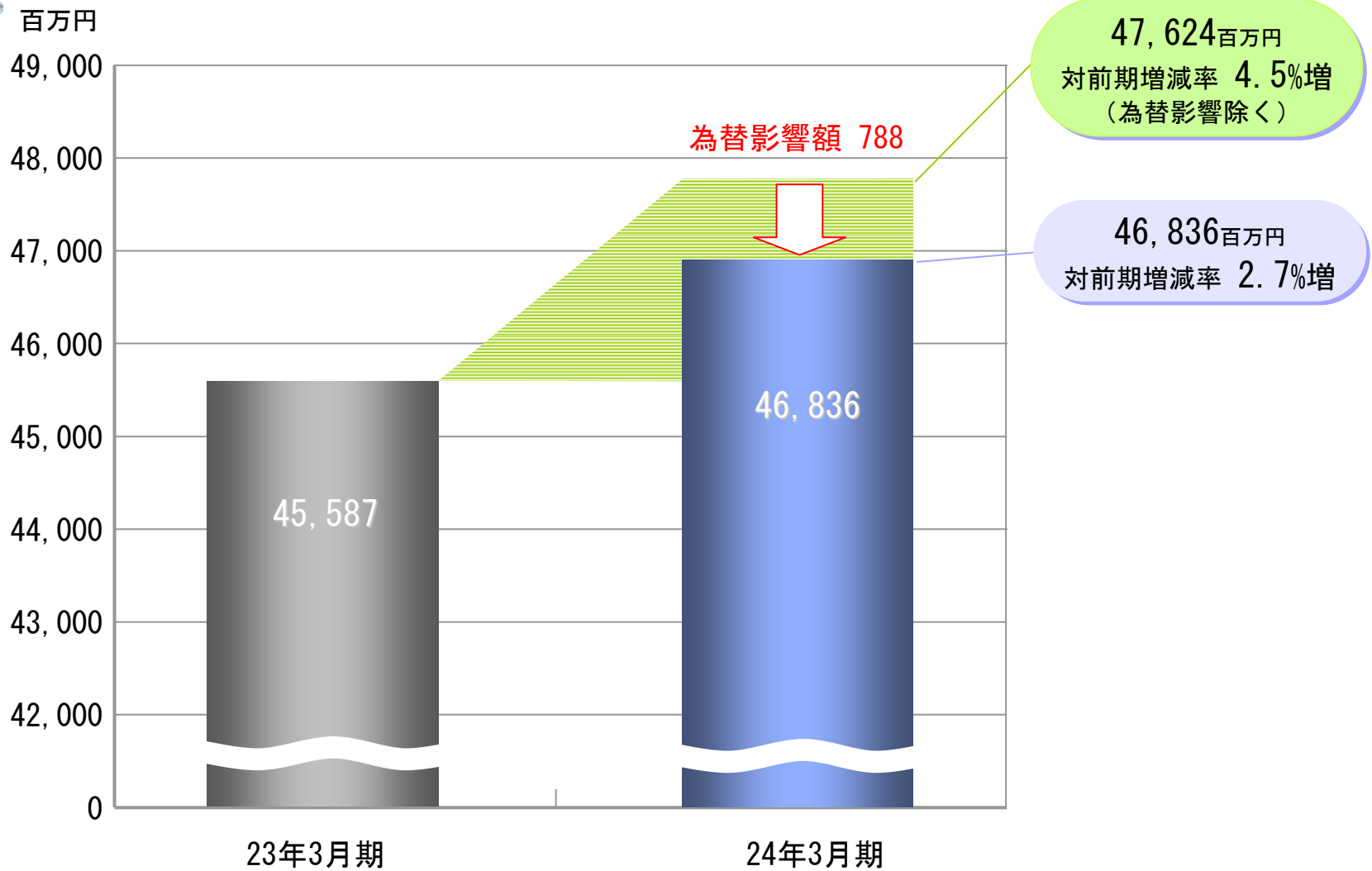
A V F 針は、人工透析において血管から血液を体外に導き出す際に使用される透析用の針です。誤穿刺防止機構付きA V F 針は、医療従事者の方々の針刺し事故を防止するため、患者さんの体から針を抜いた後の針先をカバーする機能を備えています。

# 売上高／システム部門別

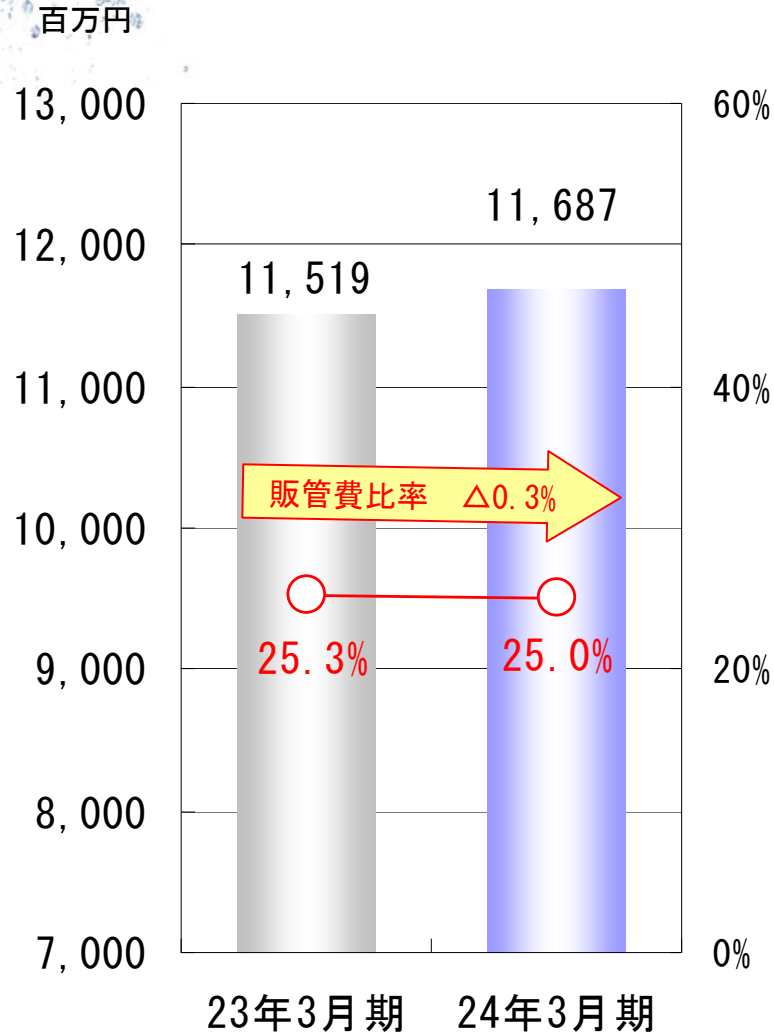




# 売上高：前期実績との比較



# 販売費及び一般管理費



百万円

	23年3月期	24年3月期	増 減	対前期増減率
人 件 費	4,887	5,212	324	6.6%
運 送 費	1,284	1,309	24	1.9%
研究開発費	1,483	1,427	$\Delta 56$	$\Delta 3.8\%$
減価償却費	458	458	0	0.1%
そ の 他	3,405	3,280	$\Delta 124$	$\Delta 3.7\%$
計	11,519	11,687	167	1.5%

# 経常利益：前期実績との比較



百万円

23年3月期  
経常利益



経常利益減少 451百万円

( $\Delta 208$ )



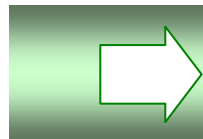
売上総利益の減少

( $\Delta 240$ )



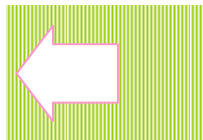
販管費の増加

(+131)



営業外収支の増加

$\Delta 134$



為替影響額

24年3月期  
経常利益



マイナス要因

プラス要因

( )内は為替影響を除く

# 平成25年3月期 通期連結業績予想



百万円

	24年3月期 当期実績	25年3月期 通期予想	増減率
売上高	46,836	48,000	2.5%
営業利益	1,052	2,300	118.6%
経常利益	1,382	2,500	80.8%
当期純利益	942	1,550	64.5%
一株当たり 当期純利益	21.84円	35.92円	---

当社グループでは「医療の安全」「医療の効率化」「再生医療」の3つをキーワードとして、市場の変化に的確に対応しつつ医療の安全に貢献する製品の販売を拡大し、また、あらゆる面で原価低減を推し進め収益拡大に努めてまいります。更に、自社の技術を活かした製品の差別化とともに、アライアンスによる製品群の拡充を図って販売を進めてまいります。

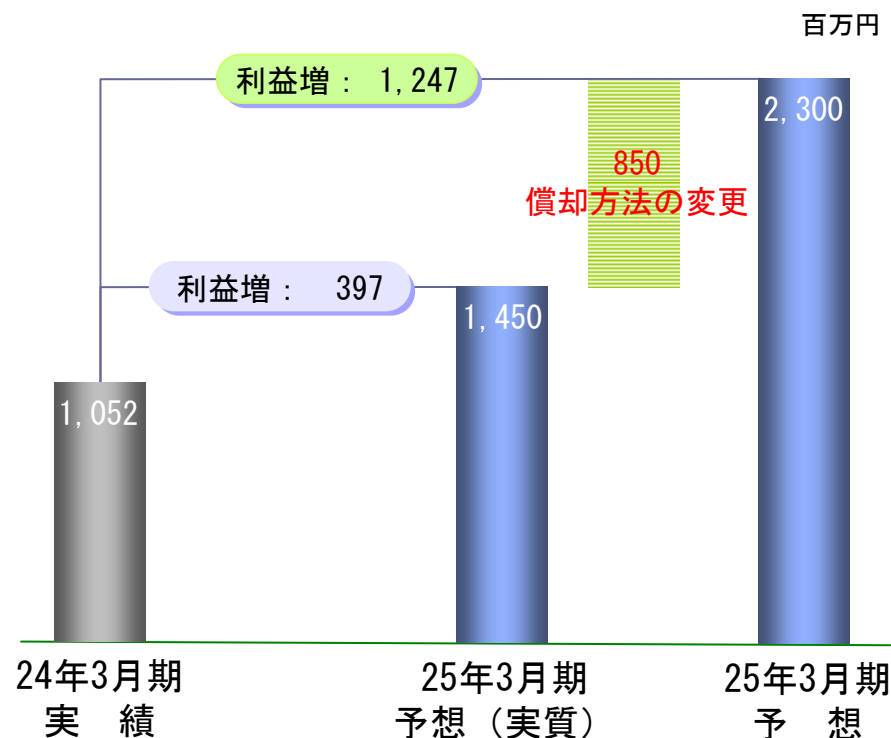
# グループ会計方針の統一



## ～ 減価償却方法の変更 ～

変更内容	定率法から定額法へ変更
適用時期	平成 24年 4月 1日から適用
適用範囲	有形固定資産（グループ会社含む）
理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 固定資産の使用実態に沿った償却方法の採用</li> <li>- IFRSへの対応準備</li> </ul>
影響額	約8.5億円の減価償却費減少 （平成 25年 3月期、連結ベース）

## ～ 営業利益予想：増減要因 ～



# トピックス



- 新発売 半固形状栄養材注入システム 「ジェイフィード ペグアシスタ」  
2012年 4月20日

- 東北大学に「統合腎不全医療寄附講座」を開設

2012年 3月29日

- 再生医療に関する共同研究契約を建国大学（韓国）と締結

2012年 3月29日

- 新工場棟建設 プレフィルドシリンジ製剤製造の関連会社

2011年11月28日

- プレフィルドシリンジ製剤「ヘパフィルド」 ラインナップ強化

2011年11月28日

- 血液浄化システム（JMS CRRTシステム）を開発

2011年10月27日



半固形状栄養材注入システム  
「ジェイフィード ペグアシスタ」



血液浄化装置  
「AcuFil Auto JC-01」

## 人と医療のあいだに・・・



ジェイ・エム・エスは、「患者様第一主義」を企業理念に掲げ、医療に貢献する企業として活動を続けています。

ジェイ・エム・エスは、これからも  
[お客さまに感動を与える製品とサービスの提供]を基本方針に、  
医療従事者の方々、患者様・ご家族、一人ひとりに、笑顔と元気を  
与え、より多くの幸せを創り出すことに、グループ一丸となっ  
て専念して参ります。

今後とも格別のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。